

～おいしいミルクを届けたい～  
渡辺 敏彦さん(鬼北町)

北宇和酪農経営者協議会長 1961年生まれ



☆経営概況☆

酪農経営に取り組んでいます。現在は成牛130頭余り、育成牛40頭余りを鬼北町と松野町の2カ所で飼育しています。年間の搾乳量は約1,400tです。

☆ここがポイント☆

■就農の経緯等

就農する前は役場の職員で農業は未経験でしたが、結婚を機に妻の実家を継ぎ、酪農家となりました。

■経営の特徴等

夕方に搾乳した乳は「夕しぼり」として出荷しています。「夕しぼり」は乳脂肪分や無脂乳固形分の高くなる夕方にしぼった乳を24時間以内にパック詰めするもので、県内の3件の酪農家に取り組んでいます。出荷した乳は乳質が良いと評価されており、励みになっています。

また、自給飼料では汎用コンバインベラーを導入してトウモロコシや飼料用稲のサイレージ(WCS)を作り利用しています。

経営には自身と妻、長男夫婦が携わっている他、外国人研修生の受け入れも行っています。

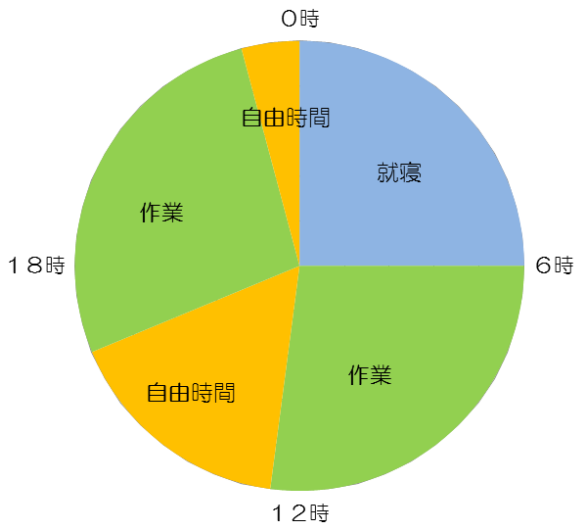


飼料イネのサイレージを生産し  
飼料費を削減しています



後継者がいることが経営の強みです

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

早朝から夜にかけて作業がありますが、**昼間は比較的自由な時間をとることができます。**ただし、様々な会議への出席や書類の作成、らくれん等関係機関との打合せなどを行うことも多いです。また、長時間家を空ける場合は家族の協力が不可欠となっています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期・普通期】						
酪農ヘルパー制度の利用で農作業以外の時間を作ります						
← 作業等 →						



長男の新居の地鎮祭にて家族と



十分な時間はありませんが視察研修などで仲間と情報交換することが楽しみです

☆これからの夢や目指すもの☆

法人化しており、社会情勢の変化に柔軟に対応しながら安定経営を目指すのが重要と思いますが、**長男の結婚など家族も増えたこともあり、新しい取り組みにも挑戦できるのではないかと期待しています。**

☆メッセージ☆

酪農は設備投資や素牛の導入に多くの投資が必要です。また、**家畜を扱うことの難しさもあり、ハードルが高いですがやりがいのある仕事です。**思いついてすぐに取り組める仕事とはいえませんが興味のある方は、農場での研修などから始めてみてはどうでしょうか。